

授業科目 教職総合演習

【担当教員名】 齋藤 トシ子 他	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GI0】

総合演習は、人間尊重・人権尊重、地球環境や異文化理解など人類に共通するテーマについて選び、資料の収集、まとめ方など計画をたて、発表できるようにまとめる。少子・高齢化と福祉、家庭のあり方などが国の社会全体に関わるテーマについて理解を深めるのみならず、これからの諸問題に係る内容を適切に指導することができる方法及び技術を修得することを目的としている。このために、上記課題に関して分析及び検討するだけでなく、児童・生徒に指導できるようになるため、本学の特徴を生かしつつ、グループワークやプレゼンテーションを取り入れ、将来教壇に立つ学生の主体的参加により創り上げる演習を目指す。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 「総合的な学習の時間」の意義について理解する。
2. 「総合的な学習の時間」で用いられる教育技法の特徴と機能を理解する。
3. グループワークを通じ、今日的課題について協動的に追求し、発表（プレゼンテーション）できる。
4. 得られた情報とそこから言えることを批判的に検討し、論理的に論述できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクション	1	講義
2	教育課程における「総合的な学習の時間」の位置づけと意義	1	講義
3	「総合的な学習の時間」実践事例にみる教育方法・技術上の特徴	2	講義
4	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（1）	3	小グループ作業
5	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（2）	3	小グループ作業
6	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（3）	3	小グループ作業
7	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（4）	3	小グループ作業
8	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（5）	3	小グループ作業
9	発表と相互評価・自己評価（1）	4	小グループ作業
10	プレゼンテーションと相互評価・自己評価（2）	4	小グループ作業
11	プレゼンテーションと相互評価・自己評価（3）	4	小グループ作業
12	プレゼンテーションと相互評価・自己評価（4）	4	小グループ作業
13	「総合的な学習の時間」における指導上の課題の検討（1）	3,4	小グループ作業
14	「総合的な学習の時間」における指導上の課題の検討（1）	3,4	小グループ作業
15	発表内容のまとめ	1	小グループ作業

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

1 「総合的な学習の時間」の意義について理解したか、2. 「総合的な学習の時間」で用いられる教育技法の特徴と機能を理解したか、3. グループワークを通じ、今日的課題について協動的に追求し、発表（プレゼンテーション）できたか、4. 得られた情報とそこから言えることを批判的に検討し、論理的に論述できたかを、演習時の状況、発表内容、調査報告書から総合的に評価する。出欠、授業への意欲・積極性も評価に加える

【履修上の留意点】

積極的な参加

* この科目は平成21年度までの入学者が対象の科目です。